

武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル

TEL 03-3211-4831 Fax 03-3211-6004



武陽月報は、大豆と共に情報をお届けするニュースレターです。

国産大豆の生育報告～うす紫の花が咲きました

先月まで長雨が続き、野菜を中心に価格高騰が見られ、国産大豆についても生育が懸念される状況にありました。しかし、8月の梅雨明け以降は、晴天が続いており、心配された日照不足も解消される勢いです。

5月から6月ごろに蒔かれた大豆は、発芽から50日ぐらいで花が咲きます。弊社の各営業所から開花している写真が送られてきました。花は3~4mm程度の小さな花で、ほとんどの種類で淡い紫色の花をつけておりますが、山形県や茨城県などで多く栽培される「里のほほえみ」では白色の花が咲くとの報告がありました。



花の中を見ると、めしべをおしべ10本ぐらいが取り囲んでいます。開花した時には受粉が完了しており、開花から約1か月後には花の付け根部分にサヤが膨らんできます。自分の子や孫が成長していくかのように、何事もなく大きく育ててほしいと願うばかりです。

宮城県・福島県・山形県の大豆生育状況については、弊社ホームページからご覧になれます。また、アメリカからも報告があり、ミシガン州で農場を営む陽気な Kimerer さんからの報告についてもご覧ください。

検索閲覧は【武陽食品】→【大豆育成状況】になります。

<https://www.buyou.co.jp/publics/index/20/>

「レジ袋有料化に関する意識調査」について ～ 消費者庁資料より

消費者庁より物価モニター調査の中で、「レジ袋に関する意識調査結果」の報告がありました。

今年7月1日からレジ袋は全国一律に有料化されました。消費者は買い物の都度3円~5円程度のレジ袋代を考慮し、マイバッグやレジ袋の再利用などで、プラスチック製買物袋の排出抑制の促進に協力しております。

今般、店舗のレジ袋の状況について、51.4%の人が6/30までは無料であった、48.6%の人が以前から有料であったと回答しました。イオンやマツモト キヨシ・ウェルシアなど一部の大手小売業者では4/1から有料化していたことで、消費者側からは有料化について段階的に浸透していったものとみられます。

経済産業省は昨年12月に「レジ袋をもらわない人を6割に」を目標としており、今回のモニター結果では、「以前からレジ袋を辞退しているが65.2%」「有料化によりレジ袋を辞退しているが32.0%」となり、「変わらずレジ袋を利用する2.8%」を大きく凌駕する結果となりました。

「変わらずレジ袋を利用する」と回答した人の理由についてもモニタリングされており、「ごみ袋として利用する66.7%」が一番多い回答で、続いて「手ぶらで買い物がしたい46.2%」「衛生面30.8%」「レジ袋の価格が安い23.1%」「マイバッグの洗浄が面倒23.1%」などとなっています。(複数回答)

たしかに、これまでゴミ箱の中にレジ袋を入れて、ごみを回収しやすくしていたのは、私の家だけではないと思います。また、焼き鳥やおでんなど汁ものを購入したときは、「マイバッグを汚したくない」思いから、レジ袋が欲しくなることでしょう。これからはニューノーマル(新常識)を受入れ、環境変化に柔軟に対応できるように、生活を見直し、ひと工夫していきたいと思えます。



大手企業の決算から見る「コロナにおける休業コスト」の計上について

上場企業の4～6月期決算の状況を見ますと、コロナ禍における「店舗休業コスト」を、特別損失に計上しているケースと、営業費用に計上するケースが見られます

また、雇用調整助成金についても、企業により異なり、特別利益に計上するケースと休業コスト(人件費や家賃から助成金を控除した額)として、特別損失に計上するケースがありました。

通常であれば、売上原価や販管費等に計上する「費用」であります。今回の新型コロナウイルスによる損失は一過性の特別なものとみなし、特別利益・特別損失に計上しているケースが多いようです。

但し、新型コロナウイルスがいつ終息するのか(今期だけなのか)、またポストコロナの環境変化は、経費構造にどのような変化をもたらすのかなど不透明であります。ご担当されている経理士・会計士に相談の上、ご対応してください。

損益計算書の構成

売上高		
△売上原価	…	通常の費用計上
売上総利益		
△一般管理費	…	通常の費用計上
営業利益		
+営業外利益		
△営業外費用		
経常利益		
+特別利益		一過性の利益
△特別損失		一過性の損失 ←ココに計上したケースが多かった
税引前当期利益		

2020年から21年の世界の大豆生産予測について ～ 米農務省資料より

2020年8月に世界の大豆生産予測について、米国農務省より発表がありました。

アメリカ・ブラジル・アルゼンチンなどの生産主要国では、順調な生育状況が続いております。特に米国においては、開花率・着サヤ率など昨年を上回り、作柄概況でも良好以上が74%となっております。

昨年は、2018年7月からはじまった米中貿易摩擦の激化が影響し、大豆の作付面積の減少などが見られましたが、今年は中国でアフリカ豚コレラの鎮静化もあり、養豚農家の生産が回復。飼料需要も見込まれ、アメリカの生産量は戻りつつあります。

単位:百万トン

	2019～20年	2020～21年		前月比	前年比
		7月	8月		
アメリカ	96.68	112.54	120.42	7.88	23.74
ブラジル	126.66	131.00	131.00	0.00	4.34
アルゼンチン	49.70	53.50	53.50	0.00	3.80
パラグアイ	9.90	10.25	10.25	0.00	0.35
ボリビア	2.80	2.90	2.90	0.00	0.10
中国	18.10	17.50	17.50	0.00	▲ 0.60
インド	9.30	10.50	10.75	0.25	1.45
カナダ	6.00	5.80	5.80	0.00	▲ 0.20
ロシア	4.36	4.70	4.30	▲ 0.40	▲ 0.06
その他	7.13	6.20	6.25	0.05	▲ 0.88
合計	337.28	362.52	370.40	7.88	33.12

2020年から21年の世界の大豆需要予測について ～ 米農務省資料より

昨年の米中の貿易合意により、第一弾の履行に伴い、米国から中国への穀物出荷量が増加しております。

米国では、前述のように生産量を大幅に増加させ、前年より+12.92百万トンの輸出増加を見込んでおります。

収穫量も多く、中国向けに安定して販売できる環境ながらも、ばら積船の用船料が高騰しており、順調な作柄状況ながらも価格面への影響が懸念される状況にあります。

単位:百万トン

	2019～20年			2020～21年			生産量増減	輸入増減	輸出増減
	生産量	輸入	輸出	生産量	輸入	輸出			
世界	337.28	162.28	164.64	370.40	162.49	165.49	33.12	0.21	0.85
アメリカ	96.68	0.41	44.91	120.42	0.41	57.83	23.74	0.00	12.92
中国	18.10	98.00	0.10	17.50	99.00	0.10	-0.60	1.00	0.00

□ 本社	03-3211-4831	□ 飼料部宮城営業所	0229-25-8680
□ 東北第一営業所	0229-54-1151	□ 飼料部福島営業所	024-593-5121
□ 山形出張所	0234-21-9144	□ 大豆選別・挽割加工工場(宮城県美里町)	
□ 東北第二営業所	0243-24-5818	□ 大豆保管第1・第2定温倉庫(宮城県大崎市)	

* ご用命はお近くの営業所または本社営業部まで、お願いします。